

会 議 名	第1回問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年12月25日(水) 13時30分から
開 催 場 所	区役所9階 913会議室
委 員 員	<p>&lt;出席者 5名&gt;  ITコーディネータ 並木 政之(委員)  公認会計士 山田 隆明(委員)  港区企画経営部長 浦田 幹男(委員)  港区国際化・文化芸術担当課長 大久保 明子(委員)  港区情報政策課長 若杉 健次(委員)</p> <p>途中退席 1名  大久保 明子 委員</p>
事 務 局	区長室 大澤室長、広報戦略担当 小坂係長、広報係 佐藤
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール(案)について 4 事業候補者募集要項(案)について 5 採点基準表(案)について 6 閉会

配付資料	資料1	問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者選考委員会設置要綱
	資料2	問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者選考委員会委員名簿
	資料3	選考委員会選考スケジュール（案）
	資料4	問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者募集要項（案）
	別紙1	提案要求仕様書（案）
	別紙2	問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者選考方針（案）
		【様式1】質問書
		【様式2】参加表明書兼参加資格審査申請書
		【様式3】共同事業体構成書
		【様式3-2】共同事業体協定書兼委任状
		【様式3-3】委任状
		【様式4】事業者概要及び業務実績
		【様式5】業務従事予定者の経歴及び専任性
	【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール	
	【様式7】企画提案書	
	【様式8】プロポーザル参加辞退届	
	【様式9】構築概算費用見積書様式	
資料5	採点基準表（一次審査）（案）	
資料5-2	採点基準表（二次審査）（案）	
資料6	デモンストレーション課題（案）	

会議の結果及び主要な発言

事務局	1 開会 （各委員自己紹介及び事務局紹介）～詳細省略～
各委員	2 委員長・副委員長の選出について 委員長選出、副委員長指名
委員長 事務局（大澤）	3 選考委員会選考スケジュール（案）について 選考委員会選考スケジュール案について事務局の説明をお願いいたします。 （事務局から、資料3「選考委員会選考スケジュール（案）」を説明）
各委員	（選考委員会選考スケジュール（案）について、一同異議なし）
委員長	4 事業候補者募集要項（案）について 5 採点基準表（案）について 事業候補者募集要項（案）及び採点基準表（案）については、相互に関連する事項として、一括審議とします。事務局から説明をお願いします。
事務局（大澤）	（事務局から、資料4「問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者募集要項（案）」を説明）

	<p>関連資料」一式、資料5「採点基準表（一次審査）（案）」、資料5－2「採点基準表（二次審査）（案）」及び資料6「デモンストレーション課題（案）」を説明）</p>
A委員	<p>資料5及び資料5－2「採点基準表」の採点の記載方法について質問です。 委員の採点は事業者評価欄に記載するものと認識していますが、その欄には評価点のみを記載すべきか、評価点に評価係数を掛けた数値を記載すればよいか、どちらでしょうか。</p>
事務局（佐藤）	<p>評価点に評価係数を掛けた数値を記載してください。</p>
A委員	<p>承知しました。</p>
B委員	<p>資料4別紙2「問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者選考方針（案）」（2）第二次審査の表下の※の記載について2つ質問です。 1つ目は、「応募事業者が1者の場合であっても審査を行うこととし、第一次審査及び第二次審査のそれぞれの総合点に占める評価点の60%を基準点（最低ライン）と設定します。」という文言があります。例えば、5者の応募があり、60%の基準点を超えている事業者が1者であった場合、第一次審査の通過事業者は1者のみになるか、もしくは60%を下回った事業者含めて上位3者を選出するのか教えていただきたい。  2つ目は、「第一次審査と第二次審査の配点比率は、おおよそ2：1です。」という文言についてです。資料5等を確認すると、1：1となっているように見えるが、どのように考えればよいのでしょうか。</p>
事務局（佐藤）	<p>まず、1つ目の質問に回答します。 総合点に占める評価点の60%を超えない事業者は、第一次及び第二次審査を通過させないものとします。 仮に5者の応募があり、60%の基準点を超えている事業者が1者であった場合、第一次審査の通過事業者は1者のみになります。  2つ目の質問に回答します。 採点基準表が複数に渡っているため、改めてご説明します。ほぼ1：1になっているのは、第一次審査の要求事項と提案事項の比率です。 第一次審査は要求・提案・価格の配点を合計すると400点、第二次審査の配点が200点となっているため、配点比率は2：1となっております。</p>
B委員	<p>理解しました。</p>
C委員	<p>【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュールについては、事業者が提出した場合、資料5「採点基準表（一次審査）（案）」のどこで採点するのでしょうか。</p>
事務局（佐藤）	<p>様式6については、資料5「採点基準表（一次審査）（案）」の事務局採点の項目とな</p>

	っています。
C委員	【様式7】企画提案書については、現在、自由記述となっていますが、資料5「採点基準表（一次審査）（案）」の採点項目は細かく分かれていますので、審査しやすい様式に変更したほうが良いと考えますが、いかがでしょうか。
事務局（大澤）	ご指摘のとおり、現在の【様式7】企画提案書では、事業者によって記載内容が異なる可能性もありますので、資料4別紙1 提案要求仕様書（案）の各項目を記載するなど、工夫をします。
委員長	【様式7】企画提案書については、事務局での修正をお願いします。
D委員	今、議論されていた審査の項目については、募集要項に様式7の記載については、要求項目ごとに付番してもらうよう注意事項を追記するとよいのではないのでしょうか。
事務局（大澤）	ご提案いただいたとおり、募集要項にも記載すべきと考えますので、修正させていただきます。
D委員	資料4「問合せ自動応答システム構築業務委託事業候補者募集要項（案）」の（4）提出資料① 物品買入れ等競争入札参加資格審査受付票（写）の※に「財務諸表」を提出するようとの記載があります。この記述は、事業者の安定性を確認する意図と考えます。その場合、他のシステム導入時等に実施した経験として、財務諸表の内容を公認会計士の委員にご覧いただき、ご意見をいただくことも可能と考えます。そのような意図でこの文言を記載したということによろしいのでしょうか。
事務局（佐藤）	財務諸表は、ご指摘のとおり事業者の安定性を確認するために記載しております。公認会計士の委員にご覧いただき、ご意見を頂戴したいと考えます。
A委員	財務諸表はどの程度の内容を確認すればよいのでしょうか。
D委員	以前、別のプロポーザルにおいて、システムを一から新規開発するにあたって、長期で作業ができる事業者なのかという意見が出たことがありました。新規設立されたばかりのベンチャー企業などでなければ、今回の構築に関して支障はないと思いますが、その観点でご覧いただければよいのではないかと考えます。
事務局（佐藤）	事務局からもその視点でご覧いただき、事業者が構築及びその後の運用に耐えうる財務状況にあるか否かについて大枠でご意見をいただきたいと考えております。
D委員	資料4別紙1 提案要求仕様書（案）について、システムの可用性についての記載はありますが、サービスレベルの稼働率等の最低ラインを求める記載がありませんでした。問合せのチャットボットのようなシステムであるため、稼働率を決めることではないという判断でしょうか。

事務局（佐藤）	<p>問合せに対応するシステムですので、システムが停止することにより区民生活に直ちに多大な影響が生じるものではない認識です。AIチャットボットを構築する上で、他自治体での数値の設定にあたり参考となる先進事例等がなく、今回の仕様書には記載しておりません。</p>
委員長	<p>それでは、募集要項と様式の結びつけができるように事務局には資料を修正してもらうことと、公認会計士の委員からは財務諸表を確認した上で意見をしてもらうこと。システムの稼働率については、あえて言及しないということで決めさせていただきます。</p>
委員長	<p><b>6 閉会</b> （閉会の挨拶）～詳細省略～</p>